



未来の先生展
2017

表現教育は何を目指すのか

講演形式

開催日時

2017年 8月 27日(日) 12:30-14:00

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館2F 206教室

講演者

いしいみちこ（石井路子）氏 ドラマティーチャー

内容

日本では珍しい正課としての演劇の授業。現在行っている3年間のカリキュラムがどのように構成され、指導がなされているのかをご紹介します。

演劇4時間・舞踊4時間、合計8時間の本格的な表現教育を受けて、生徒はどのように成長するのか。生徒の言葉や映像から、これまでの実践・成果についてお話させていただきます。

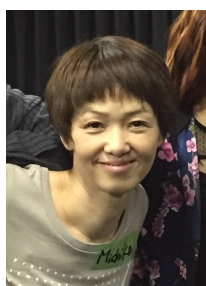
ここに注目！

「高校生が生きやすくなるための演劇教育」（立東舎）の著者に、演劇教育を通じた様々な経験についてお話いただきます。以下ご著書からの引用です。

演劇を通して、高校生たちのコミュニケーション能力を高めていきたい。あるいは、自分の身体の可能性についてもっと知ってほしい、実生活でよりよく生きる方法を身につけてほしいと願って、この教育をやっています。（中略）普通、授業は「できる」ことが求められますが、私の授業では「できる」ことが一番いいことではありません。「できて」しまうと、そこで考えることをやめてしまいがちです。だから「できない」ときこそ、自分と向き合ったり、考えたりするチャンスなんです。できないことは失敗をポジティブに捉えるのが、私の授業です。



講演者プロフィール



いしいみちこ（石井路子）氏

ドラマティーチャー

2004年から福島県立いわき総合高校において演劇教育を実践。

教育を受けた高校生にプロの劇作家・演出家を出会わせ、成果発表公演を行う。

2013年プロデュース作品 飴屋法水作・演出『ブルーシート』は第58回岸田國土戯曲賞を受賞。

2014年から大阪府の追手門学院中・高等学校において表現コミュニケーションコースを立ち上げ、表現教育を行っている。

講演者から参加者へのメッセージ

演劇教育というと、いかにして上手に大きな声でセリフを言うか、いかにして観客に説明を届けるかという「上演を目的としたもの」という認識を持たれる方が多いと思います。表現教育としては発表という場は重要ですが、それが最終目的ではありません。同様に、私たちの行っている教育が俳優教育ではないことも、なかなか認知され難いようです。演劇も含めた表現教育の到達目標は何でしょうか。私の実践からお考えいただけたら幸いです。

